

E P O 中部運営業務

令和 8 (2026)年度 業務実施計画



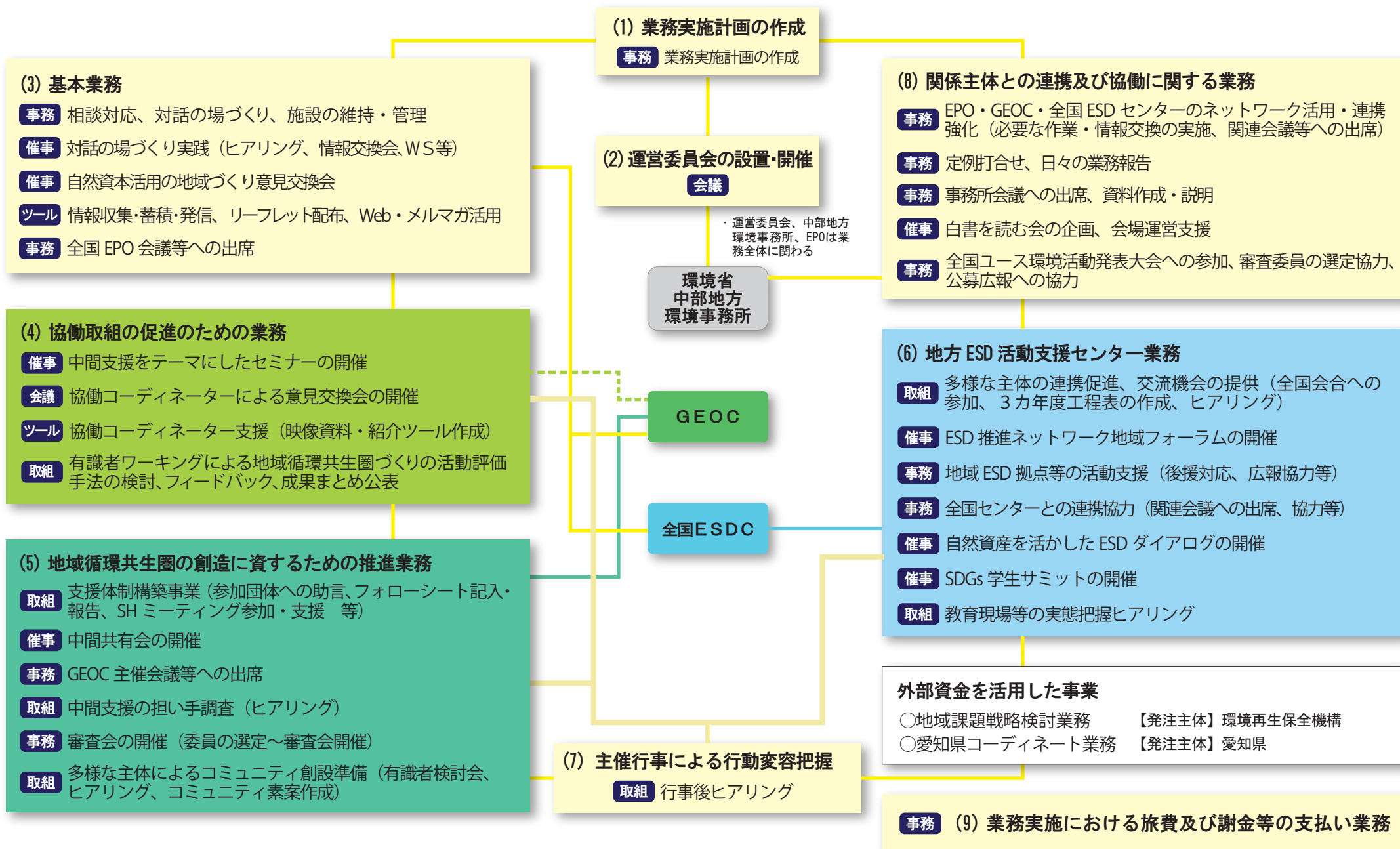
中部環境パートナーシップオフィス運営業務 令和8年度（2026年度）業務一覧

第7期3カ年度の目標

2030年を見据え中部地方のローカルSDGs達成に向け地域循環共生圏に資する地域環境活動の面的拡大を加速化させます。

今年度目標

各地方の地域活動ネットワークを重層的につなぐメタネットワークを強化し、取組の面的拡大を図ります。



2026年度業務スケジュール案

仕様書業務項目	業務内容	主担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 業務実施計画の作成	令和8年度業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	作成	運営委員会への提	修正	公開								
2 運営委員会の設置・開催	EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会の設置・開催【2回】	富田	資料作成、開催準備・調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ	公開					資料作成、開催準備・調整	運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開	
3 基本業務	3-1 相談対応・会合への参加等	原、富田	適宜実施											
	3-2 パートナーシップ形成・ESD支援のための対話の場づくり、過去協働団体へのフォローアップ等	原、富田	適宜実施											
	3-3 対話の場づくり実践：ヒアリング、情報交換会、ワークショップ等開催【4回（半日）】		中部事務所との調整	運営委員会に諮る	企画検討→関係者との調整	準備	ヒアリング情報交換会	ヒアリング情報交換	ヒアリング情報交換会	ヒアリング情報交換会	ヒアリング情報交換会	運営委員会に報告		
	3-4 地方ネットワーク拡張の場づくり：自然資本活用地域づくりの意見交換会【2回（半日）】		中部事務所との調整	運営委員会に諮る	企画検討→関係者との調整	準備	意見交換会等1	準備	意見交換会等2	準備	意見交換会等2	運営委員会に報告		
	3-5 全国EPO連絡会【3回】、協働取組促進効果分析検討会議【1回】、EPOネットワーク勉強会【1回】への参加	清本、富田	適宜出席											
	3-6 情報収集・蓄積・発信：情報収集、リーフレット頒布等	富田、小松	適宜実施		住所変更等への対応									
	3-7 Webサイト等の活用（Webサイトで情報提供、月2回以上の更新、メルマガ配信等）	富田、小松	適宜実施											
	3-8 施設の維持管理	富田、小松	適宜実施											
4 協働取組の促進のための業務	4-1 中間支援をテーマにしたセミナー【1回】	富田	企画案等を作成	関係地域・団体との調整 → 企画・準備・広報							セミナー開催			
	4-2 協働コーディネーターによる意見交換会【1回】	富田	関係者調整	準備	意見交換会	反映	まとめ作成				フィードバック			
	4-3 協働コーディネーターの取組支援：映像資料の作成【2本】、紹介ツール作成	富田	企画案等を作成	関係者調整	オンライン収録①	オンライン収録②	紹介ツール作成				印刷・公開			
	4-4 有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回】、成果まとめの公表	原	企画立案	関係者調整	WKG1実施	評価手法検討	WKG2実施	評価手法検討	WKG3実施	フィードバック資料作成	成果まとめ作成	運営委員会に報告	WEB公開	
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1 支援体制構築事業：参加団体への助言、四半期フォローシート記入・報告、SHミーティング参加・支援 等	富田	実施計画打合せ	各団体を適宜支援	各地域打合せ	フォローシート作成・提出	各地域打合せ	フォローシート作成・提出	各地域打合せ	SHミーティング				フォローシート作成・提出
	5-2 中間共有会【1回（2日）】	富田	実施計画打合せ	日程調整 → 実施場所等を関係者と調整 → 企画	準備	中部中間共有会								
	5-3 GEOC主催会議等出席：キックオフM【1回】、成果共有会【1回】、作業部会【2回】、事業検討会議【3回】、有識者会議【2回】	富田	適宜参加	キックオフM									成果共有会	
	5-4 中間支援の担い手調査（ヒアリング）【3件】	富田	対象候補検討	運営委員会に諮る	関係者の調整	ヒアリング実施①	ヒアリング実施②	ヒアリング実施③	とりまとめ			運営委員会に報告		
	5-5 専門委員による審査会の開催：委員の選定・委嘱、打合せ、審査会【1回】、	富田						委員3名選定 → 委員との打合せ	委員・応募団体との調整			運営委員会に報告	審査会	
	5-6 多様な主体によるコミュニティ創設準備：有識者検討会【2回+座談会1回】、ヒアリング【5名以上】、コミュニティ素案作成		全体案作成	運営委員会に諮る	関係者の調整 → 準備	有識者検討会①	ヒアリング	座談会	有識者検討会②	創設コミュニティの素案作成				

全業務の実施結果のとりまとめ／年間報告書の提出

2026年度業務スケジュール案

仕様書業務項目			業務内容	主担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
6	中部地方 ESD活動 支援セン ター運営 業務	6-1	多様な主体の連携促進、交流機会の提供：全国会合への参加【5回】、3カ年度工程表の作成、ヒアリング【20件以内】	原	全国会合へ適宜出席	運営委員会に諮る	ヒアリング対象校の選定 → ヒアリング実施 → とりまとめ					R9-11行程表の作成			運営委員会に報告	全業務の実施結果のとりまとめ／年間報告書の提出		
		6-2	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	原	企画案作成		関係者との調整・準備・広報展開			フォーラム開催								
		6-3	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応													
		6-4	全国センター会議への出席・連携協力：全国フォーラム【1回】、全国連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、企画運営委員会【2回】	原	適宜出席・協力													
		6-5	自然資源を活用によるESD促進（ESDダイアログ）【1回（2日）】	原	企画案作成		関係者との調整・準備・広報					ESDダイアログ開催						
		6-6	SDGs学生サミット【1回】	原	企画案作成		関係機関との調整				登壇学生チームの募集		準備・広報				学生サミット開催	
		6-7	教育現場の実態把握と連携強化：専門家【1名】、教育関係者【2名】、中小企業経営者等【2名】	原			業務関係者の専門家・教育関係者・中小企業等へのヒアリング実施							とりまとめ				
7		行動変容の把握：主催行事参加者へのヒアリング（3月中旬までに）【6事例】※1月までに4事例を報告	原、富田								業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ		4事例の報告	2事例の報告				
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	EPO・GEOC・ESDセンターのネットワーク活用及び連携の確保・強化のための会合出席	清本、原、富田	適宜対応													
		8-2	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松	適宜実施（月1回以上の打合せ、月次報告）													
		8-3	事務所開催会議への出席、資料作成・説明【1回】	原、富田							資料作成等の対応			外部評価委員会				
		8-4	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回】	富田			関係者との調整、協力事項確認		会場運営準備等		白書を読む会開催							
		8-5	全国ユース中部大会に参加【1回】、審査委員の選定に協力、公募広報への協力	清本、小松					審査委員の推薦		公募広報協力		中部大会に参加					
9		業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗	適宜実施														
10		外部資金を活用した事業：環境再生保全機構／愛知県環境学習コーディネート業務		環境再生保全機構、愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施														
成果物の提出：第1～3四半期報告書、年間報告書（及び概要版）			富田				第1四半期報告書提出				第2四半期報告書提出			第3四半期報告書提出		年間報告書提出		

EPO中部令和8年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容	主担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考	
				催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)		アウトカム(予想される成果)
1 業務実施計画の作成	令和8年度業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	・外部有識者:運営委員の助言		・令和8年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和8年度業務実施計画書 ・令和8年度アウトプット・アウトカム目標一覧表	・ターゲットの明確化		・担当官、運営委員会等関係者による当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な共有 ・各指標の担当官、運営委員等の理解	・令和8年度業務遂行計画として事業推進の内容の見える化 ・それぞれの業務についてのアウトプット、アウトカム評価可能性確保	
2 運営委員会の設置・開催	EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会の設置・開催【2回】	富田	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回)	・8名程度の運営委員で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・過半数以上の参加と欠席者からの意見聴取	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただき業務への積極的な参画を得ることによる効果的な活動を展開への寄与	
3 基本業務	3-1 相談対応・会合への参加等	原、富田	・外部の様々な活動団体:活動等参加先		・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言 ・ニーズに応じた講師等派遣 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等への参加	・相談対応票 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等の一覧		・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加件数 ・講師等派遣回数、対象人数 ・審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数(昨年度同水準以上)	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数、対象者人数の増加 ・参加する審議会、委員会、検討会、会議等の件数の増改、関係人数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進 ・各種の審議会、委員会、検討会、会議等の情報収集、関係主体へのEPO中部ESDCの認知と好感度の向上	
	3-2 パートナーシップ形成・ESD支援のための対話の場づくり、過去協働団体へのフォローアップ等	原、富田	・外部の様々な活動団体:活動等参加先		・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言 ・ニーズに応じた講師等派遣 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等への参加 ・過去の協働団体のフォローアップ	・相談対応票 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等の一覧		・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加件数 ・講師等派遣回数、対象人数 ・審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数(昨年度同水準以上)	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数、対象者人数の増加 ・参加する審議会、委員会、検討会、会議等の件数の増改、関係人数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進 ・各種の審議会、委員会、検討会、会議等の情報収集、関係主体へのEPO中部ESDCの認知と好感度の向上	
	3-3 対話の場づくり実践:ヒアリング、情報交換会、ワークショップ等開催【4回(半日)】		・地域の関係機関等(経済団体、自治体、金融機関等含む)	・有識者各回1名以上、北陸地域、長野県、東海地域で計4回程度、各回半日程度、30名程度の会場を想定		・ヒアリング、情報交換会、ワークショップ等開催記録(4回)		・有識者各回1名以上、参加者各20名程度	・地域循環共生圏、CN、CE、NP等に関する情報発信、人的交流実績	・地域循環共生圏、CN、CE、NP等に関する情報の共有、ネットワークの形成	
	3-4 地方ネットワーク拡張の場づくり:自然資本活用 の地域づくりの意見交換会【2回(半日)】		・身近な自然資本を活用した地域づくりに繋がる活動(地域循環共生圏づくり、自然共生サイト、良好な環境、気候変動適応等の取組等)等をしている団体	・意見交換会を開催、有識者各回1名以上、北陸、東海各地区で各1回、各回半日程度、30名程度の会場を想定		・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会開催記録		・有識者1名程度(2回) ・参加者20名程度(2回)	・身近な自然資本を活用した地域づくりの知見 ・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進	
	3-5 全国EPO連絡会【3回】、協働取組促進効果分析検討会議【1回】、EPOネットワーク勉強会【1回】への参加	清本、富田		・全国EPO連絡会【3回】、協働取組促進効果分析検討会議【1回】、EPOネットワーク勉強会【1回】への参加			・EPOネットワーク、全国情勢の情報	・各会合への職員の参加	・EPO中部に反映させるべき知見	・GEOC、EPOネットワークや施策動向の把握	
	3-6 情報収集・蓄積・発信:情報収集、リーフレット頒布等	富田、小松	・印刷:外注(必用に応じ)	・移転住所と新規施設情報(6月から)の発信	・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信 ・リーフレットの配布(印刷は必要に応じ)	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事 ・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数) ・移転住所と新規施設情報(6月から)		・情報発信回数(昨年度同水準以上) ・配布数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など) ・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など) ・新規住所と施設の周知拡大	・EPO中部ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大 ・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-7 Webサイト等の活用(Webサイトで情報提供、月2回以上の更新、メルマガ配信等)	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)	・移転住所と新規施設情報(6月から)	・HPの更新 ・活動内容の可視化コンテンツ作成	・HPのページ更新(月2回以上) ・活動内容の可視化コンテンツ ・移転住所と新規施設情報(6月から)		・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPIに対するご意見(運営会議委員ご意見など) ・新規住所と施設の周知拡大	・HPIによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-8 施設の維持管理	富田、小松		・事務所の移転と新規施設整理(6月)	・日常管理	・業務日報等の文書	・新事務所運用開始(〇6月) ・良好な施設空間環境の維持		・新活動拠点の構築と外来者利用(6月より)		
4 協働取組の促進のための業務	4-1 中間支援をテーマにしたセミナー【1回】	富田	・中間支援組織関係者、地域関係者による連携や中間支援機能強化	・勉強会(有識者2名程度、愛知県内を想定、1回、半日程度、30名程度の会場)		・開催記録		・参加者20名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加、きっかけとしての行動	
	4-2 協働コーディネーターによる意見交換会【1回】	富田	・協働コーディネーターの参加、候補者紹介	・情報・意見交換会(1回、2時間程度、10名程度、状況に応じてオンライン開催可)		・開催記録		・参加者各10名程度	・参加者の感想、意見(課題とニーズ)	・意見交換による情報共有と動機づけによる活動意欲の向上	
	4-3 協働コーディネーターの取組支援:映像資料の作成【2本】、紹介ツール作成	富田	・協働コーディネーターの登壇		・協働コーディネーターに関する映像資料(2本)の作成	・協働コーディネーターに関する映像資料(2本)			・協働コーディネーターに関する映像資料(2本)の視聴数の拡大	・協働コーディネーター及びその活動に関する一般への周知と認識の拡大	
	4-4 有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回】、成果まとめの公表	原	・関係する有識者等による検討 ・関係する有識者等による検討	・有識者(大学教授級、3名程度)によるワーキング3回(愛知県内、北陸地域、長野県内各1回、半日程度、10名程度の会場を想定)	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用 ・対象事例の状況ヒアリング等	・開催記録 ・地域SDGs評価フィードバック試行、成果取りまとめレポート、公開用評価ツール	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践	・各会有識者3名の参加 ・対象事例対象者への活動評価	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意見	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用の知見	
	5-1 支援体制構築事業:参加団体への助言、四半期フォローシート記入・報告、SHミーティング参加・支援等	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・必要に応じた中間支援団体が活動団体に対して行う支援の場合の同席、活動団体が開催するステークホルダーミーティングへの参加など	・中間支援主体)が中間支援機能を向上・発揮し、地域循環共生圏づくりの中間支援を実施できるようになるための支援 ・地域循環共生圏づくりに必要な中間支援機能や、支援を行う上での課題や成功要因等の分析、全国事務局への共有 ・活動団体に対する月1回以上の連絡調整、助言 ・中部地方環境事務所より依頼される団体採択に関わる意見照会、とりまとめへの対応 ・四半期に1度程度、中間支援主体に対する支援内容や、支援する中での課題・成功要因等を、「フォローシート」に記入報告 ・年度当初の中間支援主体に対する年間の支援目標、支援計画等について打合せ、必要に応じた中間支援目標や年間支援計画の修正支援、その内容フォローシートへの反映、必要に応じて活動団体に対してヒアリング等	・打ち合わせ結果と、中間支援主体に対するフォローシート等(年度当初及び四半期に1度GEOCに提出)	・地域循環共生圏取組みの中間支援についての知見	・中間支援団体に対する支援(3団体) ・活動団体との連絡調整(月1回以上)	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	

EPO中部令和8年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容		主担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考
					催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	
5地域循環共生圏の創造推進業務	5-2	中間共有会【1回(2日)】	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、全国支援事務局、GEOC	・中間共有会(1回程度、2日程程度)		・中間共有会開催記録	・各団体同士、関係者での情報共有	・関係3中間支援団体、活動団体、関係者の参加	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積
	5-3	GEOC主催会議等出席:キックオフM【1回】、成果共有会【1回】、作業部会【2回】、事業検討会議【3回】、有識者会議【2回】	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・下記への参加 キックオフミーティング(オンラインを想定、1回、1日程程度、5～6月開催)、成果共有会1回、2日程程度都内での対面開催を想定R9年2月頃、作業部会(都内予定、2回程度、1回当たり3時間程度、都内)、検討会議(事業検討会議)3回程度1回あたり3時間程度オンライン、有識者会議2回程度、1回あたり2時間程度、対面及びオンラインによるハイブリッド	・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援、当日の意見交換補佐		・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐	・各会合への職員の参加	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積
	5-4	中間支援の担い手調査(ヒアリング)【3件】	富田	・地域循環共生圏づくりの中間支援者としてEPOのパートナーとなり得る活動団体		・3件程度のヒアリング(2時間程度を想定、対面もしくはオンライン)	・ヒアリング記録(3県程度)			・地域循環共生圏づくりの中間支援者としてEPOのパートナーとなり得る団体を発掘	
	5-5	専門委員による審査会の開催:委員の選定・委嘱、打合せ、審査会【1回】、	富田	・専門委員となる有識者の参加	・打合せ(1人あたり2時間、3人)、審査会(1回、20名程度会場)の実施 ・応募団体プレゼンテーション機会の設定	・専門委員の選定(2名／3名のうち) ・資料の作成・印刷(A4白黒、60頁程度×10部程度)	・資料(A4白黒、60頁程度×10部程度) ・打合せ記録、審査会議事録	・R9「共生圏づくり支援体制構築事業」エントリー団体候補情報		・R9「共生圏づくり支援体制構築事業」採択団体	
	5-6	多様な主体によるコミュニティ創設準備:有識者検討会【2回+座談会1回】、ヒアリング【5名以上】、コミュニティ素案作成		・前年度の地域共進化ヒアリング、交流会、フォーラム参加の有識者や登壇者、協働コーディネーター、EPO中部ESDC運営委員等関係者	・ワーキンググループ検討会(3回各半日、名古屋市内、20名程度、有識者5名)但し、検討会の内、1回は座談会	・多様な主体によるコミュニティ(地域循環共生圏の創造基盤)のあり方検討 ・中部地域の多様な主体にコミュニティへ参加を呼び掛け	・ワーキンググループ検討会記録(2回) ・ワーキンググループ座談会記録(1回) ・、R9のコミュニティビジョンレポート	・多様な主体によるコミュニティ(地域循環共生圏の創造基盤)のあり方、R9のコミュニティビジョン	・ワーキンググループ検討会(有識者5名、実務者等5名、2回) ・ワーキンググループ座談会記録(有識者5名、その他参加10名、1回、オンライン20名)	・多様な主体によるコミュニティ(地域循環共生圏の創造基盤)ビジョンの具体化、	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成
6中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1	多様な主体の連携促進、交流機会の提供:全国会合への参加【5回】、3カ年度工程表の作成、ヒアリング【20件以内】	原	・ユネスコスクール登録の高校、その他の一般高校	・多様な主体の連携促進、交流機会の提供:全国会合への参加【5回】	・3カ年度工程表の作成、ヒアリング【20件以内】	・ヒアリング結果(20件以内) ・気候変動教育支援3ヶ年工程表	・全国センター、他の地方センターとの情報交流 ・高校の探究学習における気候変動教育ニーズ等の知見		・R9～11年度事業実施に向けた準備	
	6-2	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	原	・地域ESD拠点、ESD関係者	・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催オンライン併用(1回、半日程度、30名程度)		・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点、関係者等(30人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有
	6-3	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数 ・3基本業務に含む	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充
	6-4	全国センター会議への出席・連携協力:全国フォーラム【1回】、全国連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、企画運営委員会【2回】	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター	・全国センターが主催する、ESD推進ネットワーク全国フォーラム(都内予定、1回、1日程程度)への参加報告。 ・ESD活動支援センター(全国・地方)連絡会(都内予定、2回、各1日、各1名程度)参加。 ・全国協力団体意見交換会(2回)及び企画運営委員会(2回)オンライン等参加。			・関係する情報、資料 ・議論の結果としての知見		・中部ESDC担当者の知見	・ESD全国センター等ネットワークとの連携
	6-5	自然資源を活用によるESD促進(ESDダイアログ)【1回(2日)】	原	・環境省の施策と関連する地域資源(自然公園等)、関係する教育機関 ・登壇者による講演、話題提供、講評、ディスカッション	・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回、2日、30人程度】、意見交換会等(ダイアログ)1日と現地視察1日:移動手段の確保(マイクロバス等)		・ダイアログ開催記録		・参加者30名程度 ・有識者5名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加
	6-6	SDGs学生サミット【1回】	原	・中部地方の大学研究室、高校、地方自治体、NPO等 ・有識者によるファンリレーター、講評	・SDGs学生サミット【1回(半日)】／オンライン	・活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録		・会場参加10名程度 ・サミット参加、オンライン視聴100名程度 ・自治体、企業等発表3件程度 ・有識者2名程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加
	6-7	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名】、教育関係者【2名】、中小企業経営者等【2名】	原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育部局、教育委員会、現場の教員 ・SDGs、ESD活動を行っている中小企業経営者		・専門家への包括的ヒアリング(オンライン可、2時間程度、1回、大学教授級1名) ・教育関係者へのヒアリング(オンライン可、2時間程度、2回程度) ・経営者等へのヒアリング(オンライン可、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果			・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD,SDGs専門領域との連携強化
7	行動変容の把握:主催行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】※1月までに4事例を報告		原、富田	・3～6の関係者		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング結果(6事例程度、1月までに4事例を報告)		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(6事例程度)	・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動やESD活動の波及など持続可能社会に貢献する行動変容
8関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	EPO・GEOC・ESDセンターのネットワーク活用及び連携の確保・強化のための会合出席	清本、原、富田			・EPO・GEOC・ESDセンターのネットワーク活用及び連携の確保・強化のための会合出席		・会合における情報交換と交流		・会合における他の参加者の情報入手、共有した意見、等	・全国の地方EPO・GEOC・ESD活動支援センター(全国・地方)のネットワークの活用及び連携の確保・強化
	8-2	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松		・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告様式への記入作成	・様式記入の月次報告			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営
	8-3	事務所開催会議への出席、資料作成・説明【1回】	原、富田	・REOが指定する関係者	・作成した資料に関する説明(名古屋市内、1回程度、半日程度、最大3名程度)	・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応	・REO開催会議資料			・関係者の意見、評価	・REOとの協働による円滑な運営
	8-4	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回】	富田			・白書を読む会の企画運営支援	・企画運営サポート記録			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営
	8-5	全国ユース中部大会に参加【1回】、審査委員の選定に協力、公募広報への協力	清本、小松		・全国ユース中部大会に参加【1回】、公募広報への協力	・全国ユース大会への参画、審査委員選定協力	・全国ユース大会参画、審査委員選定結果 ・活動団体情報のWEB掲載		・選定審査委員	・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松、小栗		・適正な支払い		・支払い記録			・会計部署の承認	・適正支出の明確化
10	外部資金を活用した事業:環境再生保全機構／愛知県環境学習コーディネート業務						・成果報告書			・ネットワーク形成	・EPO中部活動への貢献
	成果物の提出:第1～3四半期報告書、年間報告書(及び概要版)		富田					・報告書の作成	① 第1～第3四半期報告書1部(A4版40頁程度:ホッチキス止め可)電子媒体(DVD-R)1式 ② 年間報告書2部(A4版100頁程度、簡易製本可)及び概要版:2部(A4版6頁程度:ホッチキス止め可)		